

校 内 放 送  
利 用 の 手 引 き

平成 11 年 7 月

富山市立奥田中学校生徒会

平成 11 年度前期広報専門委員会

## 第1章 音楽を流す

1. 電源スイッチを入れる。
2. 「出力」の音量をすべて3~4にする。
3. 「入力」の、「カセット」(または「CD」)の音量を3~4にして、  
「CH-2」(真ん中)のボタンをONにする。《ONにすると色が変わります。》
4. カセットテープ(CD)を再生して、適切な音楽が流れることを確認する。
5. 「入力」の、「カセット」(または「CD」)の「CH-1」および「CH-2」のボタンもONにする。《ONにすると色が変わります。》

6. 「スピーカー選択」で、放送を流したい場所を選ぶ。《ON にすると色が変わります。》

(例) 朝.....A棟1, 3, 4階、B棟(廊下も含む。)

昼.....A棟3, 4階、B棟2~4階(準備時間は廊下含む。

給食を食べ始めた頃になったら、廊下は切る。)

放課後...A~C棟、武道館、体育館、グラウンド

音楽を止める。

流す時と大体逆の手順で片付けていきます。

1. カセットテープ(CD)を停止し、取り出し、ケースにしまう。

2. 「スピーカー選択」をすべて OFF にする。
3. 「入力」のボタンをすべて OFF にし、音量もすべて 0 にする。
4. 「出力」の音量をすべて 0 にする。
5. 電源スイッチを切る。

## 第 2 章 放送で喋る。

1. 電源スイッチを入れる。
2. 「出力」の音量を、すべて 7 くらいにする。

3. 「スピーカー選択」で、放送を流したい場所を選ぶ。《ON にすると色が変わります。》

(例) 朝.....A 棟 1, 3, 4 階、B 棟(廊下も含む。)

昼.....A 棟 3, 4 階、B 棟 2~4 階(廊下も含む。)

放課後...A~C 棟、武道館、体育館、グラウンド

4. 「入力」の、「アナウンス」の列の、三つのスイッチを入れ、  
《ON にすると色が変わります。》音量を 2 くらいにする。
5. 「コールサイン」ボタンを押す。

~ ~ ~ ~

6. 「入力」の、「アナウンス」の列の音量を 8 くらいにする。

7. マイクに向かって喋る。

から御知らせします。コーで、ソーで、アーなので、ドー  
しましょう。

繰り返します。……

8. 「入力」の、「アナウンス」の列の音量を2くらいにする。

9. 「コールサイン」ボタンを押す。

~ ~ ~ ~

10. 「入力」の「アナウンス」の列の音量を0にして、三つのスイッ  
チを切る。

11. 「スピーカー選択」のボタンをすべてOFFにする。

12. 「出力」の音量をすべて0にする。

13. 電源スイッチを切る。

コールサイン( ~ )が鳴り終わる前に音量を操作すると、みっともないので注意しましょう。

### 第3章 注意事項

- ・チャイム(king kong kang kong )が鳴っているときは絶対に操作しないでください。
- ・関係の無いスイッチなどは絶対に触らないでください。壊れます。
- ・ON にしたスイッチなどは必ず OFF に戻しておいてください。  
(やりっぱなしにすることを「尻ふかず」といいます。)

富山市立奥田中学校  
校内放送利用の手引き

- ・カセットテープや CD は必ず取り出して、ケースにしまっておいてください。(これも尻ふかずです。情けない。)
- ・放送室のスピーカーから聞こえる音は、実際に聞こえる音より小さめかも知れません。気をつけてください。(放送室ではちょうどでも、外では五月蠅いことがよくあります!!。)
- ・<sup>ほうき</sup>帚と、<sup>ちりとり</sup>塵取を用意していただきました。毎月 10 日・20 日・30 日に利用した人は、掃除をしていきましょう。また、放送用のメモなどは、読み終わったら必ず処分してきましょう。放送室に残していかないでください。
- ・退室時の消灯・窓の施錠を忘れずに!!。
- ・喋る時は慌てず、焦らず、ゆっくりと、落ち着いて。



(参考)

## 平成 11 年度前期の広報専門委員会の放送の方針

### 1. 放送全般

今期の放送は、次の方針に従って流されます。

- ・ 静かな，穏やかな放送 ~ 空気であり，水である。~

### 2. 音楽について

上記の方針に従って、音楽は次のように流されます。

- ・音量は小さめに。

でかい音は、迷惑なだけ。音楽が流れていることを感じないくらい、自然な感じであることが望まれます。

- ・曲はクラシックおよびそれに準ずるものに限り、ほかの種類  
のものは流さない。

音楽には色々な種類がありますが、好みによるところが多く、できるだけ多くの人にとって気持ちがいいものを考えると、クラシック系が適当です。

雨の強い日、風の強い日は、音楽は流さず、外の音に耳を傾けてもらおう、というのも面白いものです。臨機応変に対応しましょう。

ただし、自然に存在する音を再現するような馬鹿げたことは絶対しない。

(例えば、動物の鳴き声を流して聴者の気を悪くするようなことは絶対にすべきではありません。流す側の品位が疑われます。)

### 3. 番組について

これまで、広報専門委員会は番組内容の充実を通して、「みんなに聞かれる放送」を目指してきました。しかし、今期は、上にもあるように、空気のような、そして水のような放送を目指しています。

と、言うわけで、今期は番組を大幅に減らしました。皆無に近いといえます。

今期は、是迄にないこのような方針で放送していきますが、次期以降の校内放送の方針の参考にもなればと思っています。

校内放送利用の手引き

第1版 平成11年7月発行

監修 平成11年度広報専門委員会顧問 寺崎先生，西先生

編集 平成11年度前期広報専門委員長 若林 未来

発行 富山市立奥田中学校生徒会広報専門委員会

印刷 富山市立奥田中学校コンピュータ室

定価 0円(本体0円)、非売品。